

令和7年度 学校自己評価システムシート

日高市立高麗川中学校

目指す学校像	できないをできるに変え、夢ある未来を拓く学校
重点目標	1)主体的・対話的で深い学びによる学力の向上 2)生徒指導・教育相談の充実 3)授業力・指導力の向上 4)コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進 5)特別支援教育の推進

学 校 自 己 評 価										
年 度 目 標			年度評価 (令和8年1月20日現在)				学校運営協議会での評価		「学校運営協議会での評価」を受けて	
評価項目	具体的方策	評価指標	評価基準	教職員の割合	保護者の割合	目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	
組織運営の充実 小中一貫教育の視点	・積極的な情報提供による、学校教育目標の周知と共有 ・小中合同研修会の実施による小中一貫教育の推進	1 学校教育目標「自立と貢献」の実現を目指し、生徒の育成に努めている	A+B	95.2%	96.0%	日々の学校生活や各種行事の目的と学校教育目標の関連性を明確にし、教育活動の実践をおこなった。項目1について、保護者の割合が、Aが1.1ポイント、A+Bが2.0ポイントと昨年度より上昇となった。教職員と保護者の認識もほぼ一致しており、教職員、保護者共に学校教育目標に関する理解や効果が広まっていると考えられる。小中一貫教育については、教職員のA+Bのポイントが16%下がった。	X	生徒主導型の学校行事の実施、ボランティア活動への参加等、自立心や奉仕の精神を育成する機会を多く教育活動に組み込み、学校教育目標の実現へと繋げていく。 小中一貫教育校として、高麗川小学校との連携を一層深め、小中一貫教育のカリキュラムを見直し、系統性を重視しながら、9年間を見通した教育活動を展開し、学力向上を目指す。また、教職員間の情報を密に行い、中1ギャップや不登校の解消につなげていく。	実施日 令和8年1月23日	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
		2 小学校との連携を推進し、小中一貫教育に努めている	A+B	84.0%	92.4%					
			Aのみ	36.0%	29.2%					
基礎学力の定着	・主体的・対話的で深い学びを目指した授業研究会の実施 ・自主学習への意欲付けによる家庭学習の習慣化	3 学習内容が身につくよう、学習規律を定着させ、わかりやすい授業、楽しい授業をしている	A+B	100.0%	87.6%	埼玉県学力・学習状況調査の結果を分析し、学年の特徴をつかみ、学習効果を高めるための授業技法について実践してきた。昨年度に引き続き、毎時間の授業の目的や課題を明確に提示し、主体性をもたせた授業を展開し、タブレットPCを最大限活用した授業を実施した。しかしながら、すべての質問のなかで、昨年度と同様に保護者の評価が最も低く、教職員との評価のギャップが大きい項目である。	Y	生徒同士が学び合う機会を大切にするとともに、埼玉県学力・学習状況調査の結果を各学年ごとに分析し、学力向上に相関の高い活動の研究を進め、一層の授業改善に努める。また、タブレット端末による、個別学習システムをさらに活用し、基礎学力の定着を図る。 家庭学習については、保護者が特に課題と考えていることから、学校と家庭が共に連携し、一貫した指導と支援が必要である。家庭学習についての意義や目的や方法について積極的に情報提供し、協力を呼びかけていく。	項目3について、学習内容が身につくようわかりやすい授業をしている様子が見える。さらに、学力向上のために一番大切なのは授業だと思われ、先生方には研究に努め、よりよい授業を展開してもらいたい。 項目4について、家庭学習の定義が、保護者と教職員とで違うのではないかと。自主学習のノートを提出することを家庭学習と考えている保護者もいるので、塾での勉強も家庭学習に含めるようにすれば、保護者の評価が上がるのではないかと。家庭学習の取り組み方について、課題提示や活用方法などを学校で考えていけるとよい。	
		4 生徒が家庭学習に取り組めるよう指導している	A+B	92.0%	76.0%					
			Aのみ	12.0%	18.4%					
保護者や地域との連携 コミュニティ・スクールの視点	・各種便り、メール等による情報発信 ・学校公開の実施 ・共感と傾聴を大切にしたい三者相談の実施	5 保護者・地域に学校の取組や教育活動を伝えている	A+B	96.0%	93.6%	学校・学年・学級だより、HPへの掲載、学校行事の公開等で学校の様子を伝えている。「LEBER」と各種たよりを併用し、保護者会等の学校行事の連絡を行うようにした。体育祭・合唱祭は多くの保護者が来場された。しかし、学校公開の期間の保護者の来校人数が少なかった。項目5は、保護者の評価と教員の評価は共に高い項目であった。項目6のA+Bの評価は、保護者の評価と教員の評価で、4.4ポイント差があった。	X	HPに様々な学校の基本情報やお知らせを掲載している。来年度は今年度以上に、「LEBER」を活用し、保護者との連絡だけでなく、学校からの通知や各種たより等を配信していくことをすすめていく。学校公開の期間を検討し、保護者への広報もすすめていく。 三者相談や個別相談を通じて、保護者との意思疎通を図るとともに、地域の声を反映した学校運営を実施する。また、地域学校協働本部を核としたネットワークを活用し、地域と共に成長する学校を目指す。	項目5と6について、教職員、保護者共に評価が高く、学校の取組や教育活動が伝わっていることがわかる。今の時代において学校の情報はいかに正確にしかも迅速に伝えることが大切なので、「LEBER」をもっと活用して、情報を発信して欲しい。また、保護者が先生と話す機会が少ないという意見も聞いているので、三者相談の前に5分二者相談をしてから始めると保護者も伝えたいことを話せるようになると感じる。また、学校公開については、できるだけ多くの保護者にきてもらえるように工夫をして欲しい。	
		6 家庭への連絡や相談など、意思疎通を図ろうとしている	A+B	96.0%	91.6%					
			Aのみ	44.0%	36.8%					
社会性・人間性の育成	・いじめアンケート、生活アンケートの実施による実態把握 ・生徒が主体となり活躍できる行事の実施	7 生徒がだれとでも仲良く生活し、いじめや不登校がないよう努めている	A+B	92.0%	88.4%	教育相談部会や生徒指導部会を毎週実施し、生徒の様子を教職員全体で見守り、把握する体制を整えている。また、生徒と過ごす時間を大切に、温かな見守りと見届けに努めた。登校の不安定な生徒に対しても、面談や家庭訪問を実施し、外部機関とも連携を行った。 中心生徒だけでなく、どの生徒も主人公となるよう、一人一役を決め、学級内で活躍・貢献ができるような体制を構築している。	X	交換ノート、学校生活・いじめアンケート等、日常の些細な行動変容を見逃さず、全教職員が全生徒について情報共有を行い、見守りと見届けを行う。また、ふれあい相談員やスクールカウンセラー、市の子育て担当等と連携をし、包括的な支援体制を維持していく。 道徳、人権教育の一層の充実を図り、生徒一人一人にやりがいと居場所があるよう環境を整備する。また、自尊心を育む行事となるように、一層の工夫をしていく。	項目7について、学校公開で道徳の授業参観をして、タブレットや様々なツールを活用して授業が行われ、生徒も熱心に取り組んでいて大変好感がもてた。教室に入れない生徒の見守りなどは手が不足しているように感じました。交換ノートはこれからも続けて欲しい。 項目8について、行事は本番以上にその過程が大切だと思うので、ぜひ先生方によりよいアドバイスをお願いしたい。生徒一人一人が主人公になれるよう、学級内で活躍・貢献できるような体制づくりを実践していることは評価できる。地域と一緒にいけるものがあるとよいと思う。	
		8 学級活動や生徒会活動、学校行事などを通して、生徒の心の育成をしている	A+B	96.0%	97.2%					
			Aのみ	60.0%	44.4%					
安心安全な教育環境	・施設設備の月点検、日常点検の実施 ・定期的な自転車点検や学期末ごとの交通安全指導、年度当初の交通安全教室の実施	9 校舎内外の施設設備などが安全に使用できるようにしている	A+B	92.0%	95.2%	定期点検を実施して修繕箇所は教育委員会の協力を得て、迅速に対応した。また、盗撮防止の観点から校内巡視を行い、校内の安全に努めた。鍵のボックスの整理を行い、鍵の管理を明確にした。 交通安全教室、登下校時のパトロールを実施し事故防止に努めた。校外学習でのバスの事故があり、その対応について保護者から意見があった。項目10のA+Bの評価は、保護者の評価と、教員の評価で、10.8ポイント差があった。	X	校内の老朽化もあり、生徒の安全を確保するためにも、複数の目による確実な定期点検を今後も実施し、安全安心を第一に潤いのある環境を整える。また、生徒が主体的に行動できる避難訓練の実施に向けて計画・立案をしていく。また、盗撮防止等の観点での校内巡視も教職員全体で行う。 学校での事故の報告に関しては、保護者からの理解を得られるように努める。	項目9の施設については、学校の安全のために複数の目で定期点検を行っていることは評価できるので、引き続き校内巡視をしていただき、盗撮防止や修繕箇所の早期発見に努めていただきたい。また、気付いたことは後回しにせず、できるだけ早く情報共有をする体制づくりを行って欲しい。暑さ対策として体育館に冷水機をつけてあげてほしい。 項目10について、夏休みの部活や冬場だけでも自転車通学の範囲を変えてもよいと思いました。交通安全教室、登下校時のパトロールは評価できる。今後も続けてもらいたい。	
		10 生徒に登下校時の交通安全など、安全安心な学校づくりに努めている	A+B	100.0%	89.2%					
			Aのみ	36.0%	28.0%					